

平成31年1月31日

県木協だより

編集発行 宮城県木材協同組合

仙台市青葉区東照宮一丁目 8-8

TEL 022-233-2883

FAX 022-275-4936

E-mail:miyagi_wood@waltz.ocn.ne.jp

URL:http://www.miyagi-wood.jp/

謹賀新年



年頭のご挨拶

理事長 佐藤 豊彦

新年おめでとうございます。

組合員始め、皆様方には穏やかな新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

旧年中は、本組合の運営に格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は一月の草津白根山の噴火、二月の福井などでの豪雪、六月の大阪府北部地震、七月の西日本豪雨、七、八月の猛暑、九月の台風、北海道胆振東部地震と自然災害が連続しました。まさに天地が鳴動し、平成平らかならずの感を強くしました。被災された方々の生活が一日も早く元に戻られるよう願ってやみません。

さて、本年五月には平成の御世から新しい時代が始まる大きな節目を迎えますが、森林・林業・木材産業も大変

大きな節目を迎えております。戦後、私たちの先輩方が将来を思い、汗にまみれながら黙々と育ててきた森林が宝の山となっておりま

ます。国においても今年四月から「新たな森林管理システム」と私たちが長年要望してきた「森林環境譲与税」の事業が始まります。

また、昨年全国知事会に創設された「国産木材利用促進プロジェクトチーム」では、都市が木材利用の促進に取り組むことで地方の森林整備を支援する取組が始まりました。

このような、神風とも言えるたくさん

県内においても東日本大震災の復興を契機に地域産材やFSC材の活用が進み、さらには宮城県CLT等普及推進協議会の活発な活動により木材利用の産学官の連携が一層確かなものになりつつあります。その結果、CLT等を使つての木造木質化が公共建築、事務所、工場やマンションに広が

つて真の宝の山となるよう組合として努めてまいります。皆様方の力強いご支援ご協力をお願い申し上げます。結びに、本年の木材産業の発展と皆様方のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。

木材利用の制度面からは、昨年度の県の「みやぎ森と緑の県民条例」施行や、みやぎ環境税を活用した県産材利用エコ住宅普及促進事業などですっかりと支えられており



新年のご挨拶



宮城県農林水産部
林業振興課長
田中 均

あけましておめでとうございます。

宮城県木材協同組合会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、本県の森林、林業・木材産業行政の推進につきまして、日ごろ格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、林業・木材産業の持続的な発展などを目的とする「みやぎ森と緑の県民条例」が制定され、その基本計画となる「新みやぎ森林・林業の将来ビジョン」を策定いたしました。

新しいビジョンでは、県がこの十年で取り組む施策の中でも特に力を注ぐべき取組として五つの重点プロジェクトを掲げております。このうち、木材の需要創出と原木流通の合理化を第一のプロジェクトと位置付け、①住宅分野以外でのCLTを活用した建築物の普及拡大、②製材加工の水平連携や輸送効率アップなど加工・製品流通の合理化、

③木質バイオマス活用の推進などによる未利用資源の需要開拓を進めることで、新たな木材の需要創出に取り組んでまいります。

今年は特に、素材生産現場や原木需給調整におけるICT（情報通信技術）の活用など、原木流通の合理化に必要な基盤整備にも着手し、いよいよ本格的な利用期を迎えた森林資源の循環的利用を進め、林業・木材産業の一層の産業力強化を目指してまいります。

また、新たな構造用木質建材であるCLTを利用した建築物の普及をさらに加速するため、モデル施工への支援を継続するほか、宮城県林業技術総合センター（大衡村）をCLTにより建て替えます。中高層の非住宅建築にも県産木材の利用を広げていくことで、本県林業・木材産業の活性化と地方創生に繋げてまいりたいと考えております。

さらに、この四月からは市町村が主体となる「新たな森林管理システム」が施行され、これに必要な森林整備等の財源として森林環境譲与税（仮称）が交付される見込みとなっております。

このように新たな制度が創設され、森林、林業・木材産業に注目が集まる中、県とい

たしましても、更なる活性化に向けて積極的に取り組んでまいりますので、会員の皆様には、引き続き、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様のこの一年の御健勝と御多幸をお祈り申し上げ、年頭に当たっての御挨拶といたします。

地域から

「栗原管内の地域材利用の取り組み」

宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所
栗原管内の市町村は栗原市一市のみで、その森林面積は、約四万四千ha。森林比率は、五十五%を占めています。

管内の民有林素材生産量は、平成二十八年推定値で約五万立米。また、平成二十九年次の管内製材業者による年間素材消費量は約七千二百立米で、そのうち約六千八百立米（九十四%）が県産材となっています。

当事務所では、地域材の利用促進に向けて、工務店・製材所等を訪問し、地域材に係る情報収集や各種補助事業のPR等を行っているほか、宮城県北部流域森林・林業活性化センター栗原支部（支部長：栗駒高原森林組合代表理事組合長）が栗原市に対して行う地域材利用の要望活動支援を行っています。

この要望活動の結果、来年度の参議院議員選挙用ポスター掲示板に地域材が使用される方向で地元関係者との調整が進められています。選挙用ポスター掲示板については、既に県内各所で地域材利用が進められています。実現すれば栗原管内では初となります。

その他、最近の新たな試みとして、一迫林業研究会が中心となつて作製したサイクルスタンドが挙げられます。(写真参照)

これは、昨年八月に開催された自転車のイベント「ツール・ド・いちほさま二〇一八」の来場者に栗原産スギをPRするため、地元の製材所で製材された栗原産スギによつて、三十六基(長さ四m:三十基、二m:六基)作られたものです。使用後のサイクルスタンドは、同様のイベントでの使用や、喫茶店等の店舗の中に自転車とともに飾るなどインテリアとしての活用が考えられるとのことでした。

実際にサイクルスタンドを利用した方からは、「シンプルだが、軽くて実用性があり設置されていてありがたい。」「栗原産スギを使用していることを示すステッカーを貼るなどして、積極的にアピールしたほうが良い。」といった声が聞かれました。

今後も、地域材の利用を、住宅向けはもちろん、その他様々な場面で幅広く進めることによつて木材利用のサイクル「植える↓育てる↓使う↓植える」と森林整備の維持・増進に繋がっていきたいと考えています。

宮城・仙台住宅リフォームフェア出展

一月十二、十三日に夢メッセみやぎで開かれたフェアに県木協として出展しました。今年度取り組んでおります、「JAS構造材利用拡大事業」の一環として木材利用の普及宣伝活動を行いました。

当日は丸平木材(株)、守屋木材(株)、セイホク(株)、(株)ホーム建材店、(有)庵原林業様からの見本やパンフレットの出品協力や地域優良住宅「在来工法の会」のノベルティ配布などもあり、約一万四千人の来場者に対して、準備した八百の配布物も早々になくなるなど大盛況でした。

来年度も事業継続の見込ですので、出展協力をお願いします



『第二十回みやぎ木造住宅コンクール結果』

県内各地から応募作品が寄せられ厳正な審査の結果次のとおり表彰されることになりました。

なお、入賞作品は木造住宅コンクール写真集として発行しております。



最優秀賞



最優秀賞

施主市町・施工者・設計者
角田市・共栄ハウジング(株)・(有)ササキ設計

優秀賞

仙台市・(有)伊藤工設計・同
塩釜市・阿部建築工業・

優良賞

久保一級建築設計事務所
東松島市・タカハシ木材store(株)・
タカハシ建築工房一級建築士事務所
大崎市・(株)サステイナライフ森の家・
アトリエ森の舎

優良賞

表彰式は二月十六日(土) 午前十時半から、各後援団体等関係者列席のもとホテル白萩にて執り行います。

栄えの受賞

平成三十年文化の日表彰(十一月九日)

産業功労

監事 庄子 富雄氏

第五三回全国木材産業振興大会

(十月十八日 於広島市)

全木連会長表彰状

理事長 佐藤 豊彦氏

誠にありがとうございます



平成三十一年優良職員表彰推薦受付

組合では、永年にわたり組合員事業体の職員として業務遂行の功績が顕著で、他の模範となる方々を表彰してまいりました。

今年も三月に候補者の推薦受付、五月下旬開催の通常総会での表彰を予定しております。詳細は改めて案内いたします。

新組合員の紹介

二チモクパレット(株) (石巻市)

代表取締役社長 堀池 満

(株)丹野林業建設 (川崎町)

代表取締役 丹野 将紀

(株)県南エコテック (蔵王町)

代表取締役 丹野 将紀

(株)JCO (仙台市)

代表取締役 田辺 賢至

どうぞよろしくお願いいたします。

無料セミナー等開催案内

○消費税率引上げに伴う住宅取得支援制度及び省エネ等良質な住宅・建築物の取得・改修に関する支援制度等説明会

日時 二月十四日(木)午後一時半
場所 東京エレクトロホール宮城

対象 国土交通省
住宅関連事業者

内容 ①引上げに伴う住宅取得支援策
□住宅等の省エネ化 □木造住宅等の振興

申込 電話0120(555)312
平成三十年度合法木材供給事業者研修会

日時 二月十八日(月)午後一時半
場所 ホテル白萩

内容 宮城県木材協同組合等五団体
①「クリーンウッド法登録推進
相談会・セミナー」

講師 全木連 加藤正彦氏
②「発電利用に供する木質バイオマスの証明のためのガイドライン」の適切な運用について

講師 日本バイオマスエネルギー
協会 前川洋平氏

申込 当組合までお問合せください
平成三十年度 林団連講演会

日時 二月二二日(金)午後一時半
場所 宮城県木材文化ホール

内容 宮城県林業団体連絡協議会
(仮)「木材流通における
サプライチェーンの構築」

講師 椎野ロジステック研究所
所長 椎野潤氏

申込 当組合までお問合せください
平成三十年度木材セミナー

日時 三月五日(火)午後一時半
場所 ホテル白萩

内容 宮城県木材協同組合
「木構造の視点から見た製材に
対して要求される品質と性能」

講師 セイホク(株)技師長神谷文夫氏
申込 当組合までお問合せください

受講費助成 新入社員育成セミナー

人材の育成確保、中でも新入社員の定着育成は経営の継続発展の最重要課題の一つです。個々の事業体には難しい就業前の新人教育として、組合員各社の新入社員向けに左記セミナーへの参加経費の一部を助成します。

日時 三月二八日(木)午前十一時から
二九日(金)午後五時 一泊二日

場所 エスポールみやぎ(仙台市宮城野区)

主催 ニュークリエイティブマネジメント
基本思考、基本姿勢、基本動作等
の新人教育

料金 二万九千円(宿泊・昼食代含)
組合から一人二万円、一社当たり三人分

六万円を限度に予算の範囲内で助成します。詳細は組合までお問合せください。

平成三十年度補正、三十一年度 林野関係予算

現在審議中の補正予算では、T P P、日E U・E P A対策として工場の設備補助の合板・製材・集成材生産性向上・品目転換促進対策費二百十八億円、木材の消費拡大対策費四十六億円が計上されている。当初予算でも流通構造改革やA材原材料製品の普及など木材産業・木造建築活性化対策費十二億円が計上されるなど、補正と合わせてT P P等対策のほか消費増税対策や森林環境税に伴う素材生産量の増加を見込み、需要拡大予算が強化された。当組合でも引き続きこれらの需要拡大事業に取り組んでまいります。予算成立後改めてご案内します。

インフルエンザ蔓延中。木造は風邪等の感染率が低いとの報告もあります。心身の健康や子どもの成長にとっての木材の良さをもっと広く伝えていきましょう。(好)